

# にし く ぼ 西久保ながし



44 県政レポート  
2022.4



 **未来への責任**

警察常任委員会 産業イノベーション推進特別委員会

## コロナを克服し、日本一元気な愛知へ!



新型コロナウイルス感染症は、感染拡大を繰り返し、一向に収束の気配が見えてまいりませんが、オール愛知で一丸となって基本的な感染対策の徹底や3回目のワクチン接種、経口治療薬提供体制の整備等、粘り強く取組んでいきます。そして、カーボンニュートラルの取組は勿論、コロナ克服後を見据え、「ジブリパーク」や「STATION Ai」、「アジア大会」など数多くのビッグプロジェクトを成功させて、「日本一元気な愛知」を継続させてまいります。

### 一般質問 再生可能エネルギーの拡大について



カーボンニュートラルの実現は、製造から消費、廃却までライフサイクル全体の中で、すべての産業で取組が必要。また、すべての人がライフスタイルの大転換が必要。エネルギーの7割以上が化石燃料では目標達成できず、エネルギー政策の大転換が必要。



#### 1 本県の再エネの現状把握 …データで把握し、示すべき!

- 国のエネルギー基本計画では、再エネ比率36~38%程度を目指すとしている。
- 本県の再エネ施設整備は太陽光、風力、バイオマス等、進んでいる。

**Q** 再エネ全体の導入量、内訳、比率、全国順位

**A** 導入量の合計は、約330万kWで全国第2位。事業用太陽光が約180万kWで全体の約56%、住宅用が約100万kWで約30%、バイオマスが約40万kWで約12%。住宅用とバイオマスは全国第1位。

#### 2 再エネ拡大の取組状況 …再エネ分野でも国内をリードすべき!

- 「国・地方脱炭素実現会議」において、再エネの更なる導入が示された。
- 民間企業、住宅における自家消費型太陽光発電の導入を促進するというもの。

**Q** 再エネ拡大に向けた具体策、今後の取組

**A** 昨年度までの18年間で、太陽光発電設備及び省エネ・蓄エネ設備等の合計で約10万9千件、約16億円の補助実施。来年度からは太陽光に加えて、太陽熱も新たに補助。予算額も前年度から2,000万円増額。

#### 3 中小工場を再エネ化する取組 …中小企業の取組を支援すべき!

- 「知の拠点あいち重点プロジェクトⅢ期」の研究テーマに水素蓄電の技術開発がある。
- 中小工場を再エネ化する取組が今期終了する。

**Q** 研究成果・今後の技術普及

**A** システムはAIにより電力供給を最適制御、中小工場の電力需要を「100%再エネ」で賄い、CO<sub>2</sub>排出ゼロを目指す。公開実験を実施し、広く地域企業に普及促進。社会実装に向けた技術開発を推進。





### ヤングケアラーの適切な支援、社会全体の理解促進

ヤングケアラーに係る理解促進に向けた取組を実施。また、教育や福祉分野などの関係機関への助言を行うとともに、連携の強化を図る。ヤングケアラー理解促進シンポジウムの開催(7月下旬頃)。ヤングケアラー支援関係機関研修の実施。ヤングケアラー支援コーディネーターの配置。



### 人権が尊重される社会づくり、条例を制定

人権が尊重され、差別や偏見のない社会の実現に向け、「愛知県人権尊重の社会づくり条例」を制定し、愛知県人権施策推進審議会の設置や条例の普及に係る広報・啓発を実施するほか、人権に関する相談窓口の設置やインターネットモニタリングを実施。県民文化局内に「あいち人権センター(仮称)」を設置。



### 保育人材・介護人材の確保対策を強化

保育士の就職促進や、離職防止のための労働環境の改善、潜在保育士の確保により、保育人材の確保対策を強化する。また、2025年へ向け、介護が必要になる方の急速な増加に対応できるよう、介護サービスを提供する人材の確保対策を強化する。外国人介護人材を始め、介護ロボットやICT導入も支援。



### 女性の活躍促進に向けた取組を積極的に推進

女性の「定着」と「活躍」の拡大に向けた取組を推進。性別役割分担意識にとられないキャリアプラン形成のための、中高生・大学生等を対象とした出前講座の開催等。役員等の女性リーダーの育成に向けた講演会の開催、SNS等による情報発信、企業の人事担当者によるワーキンググループの開催。



### 「愛知県基幹的広域防災拠点」の整備を推進

大規模災害時に、全国からの応援人員や物資等を円滑に受け入れ、被災現場や地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する「愛知県基幹的広域防災拠点」の整備に向け、用地買収に着手するとともに、敷地造成工事等を行う。災害時に拠点を円滑に運用できるよう活動計画の策定等を行う。(豊山町青山地区)



### SDGs達成に向けた取組加速

秋に「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催(愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」)するなど、一層の普及啓発を行うとともに、SDGs環境プラットフォーム構築を始めとする環境面からの取組を推進。新たにSDGs取組事例パンフレットの作成やSDGs登録企業等交流会の開催。



### 新型コロナウイルス感染症拡大防止、医療提供体制の確保

- 医療提供体制の確保…重点医療機関患者受入体制確保推進、愛知病院運営、入院医療機関等施設設備整備、看護職員人材確保等
- ワクチン接種体制・PCR検査体制の確保…ワクチン接種体制確保、ワクチン大規模集団接種会場(6か所)運営、ワクチン接種支援、PCR検査体制強化等
- 医療機関に対する県独自の支援…愛知県医療従事者応援金・加算金、民間病院経営維持資金貸付、高齢者福祉施設ワクチン接種加速化支援

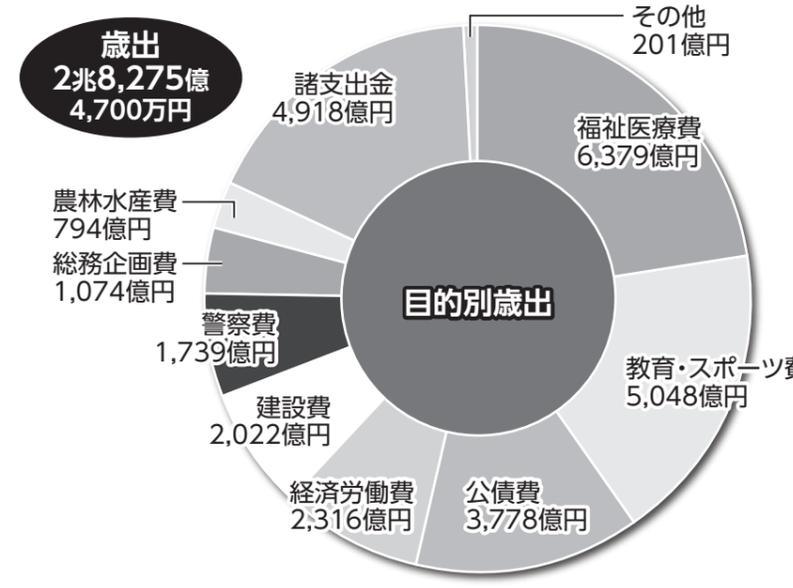
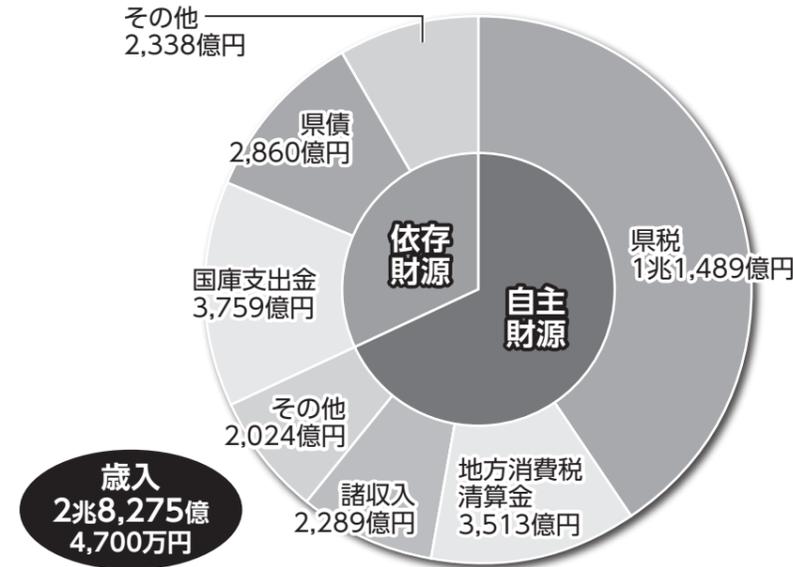
#### 〈大規模接種会場において、小児(5歳以上11歳以下)への新型コロナワクチン接種〉

大規模集団接種会場	名古屋空港ターミナルビル(豊山町)	藤田医科大学(豊明市)	藤田医科大学岡崎医療センター(岡崎市)	愛知医科大学メディカルセンター(岡崎市)
開設期間	2022年3月初旬～7月31日(日)(予定)			
接種規模	1時間当たり10人程度(※1)			
接種体制	開設日(※2)	週3日(金曜・土曜・日曜)	週2日(火曜・土曜)	週1日(月曜)
	予約方法	県のLINE予約システム・コールセンターでの電話受付		
	使用ワクチン	5～11歳専用のファイザー社ワクチン(3週間の間隔において2回接種)		

※1 1日当たりの接種規模は、接種時間や医師・看護師等の体制により、各会場で異なります。  
※2 各会場の開設時間や予約枠数については、医療機関と調整中です。

# 2022年度 愛知県予算

## 一般会計



### 小学校の少人数学級を拡充

少人数によるきめ細かな指導体制を構築し、子どもたちの安心・安全な学びを保障するために、小学校第1学年、小学校第3学年及び中学校第1学年で実施している35人学級を小学校第4学年に拡充。

〈小学校第4学年に35人学級を拡充するために必要となる学級数・教員数〉

40人編制での学級数(A)	35人編制での学級数(B)	必要学級数(B)-(A)	必要教職員定数
1,509学級	1,681学級	172学級	172人

※市町村判断により、少人数学級と少人数指導との選択的な実施が可能。

### 小学校高学年における教科担任制の推進

- ・専任(31人増) 100人⇒131人
- ・非常勤講師(6人増) 32人⇒38人

★優先的に専科指導の対象とする教科  
外国語、理科、算数、体育



### スタートアップを起爆剤にした、持続的なイノベーション創出

「STATION Ai プロジェクト」に基づき、スタートアップの新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、本県産業の成長を拡大させるエコシステム形成の取組を一層強化。小中高生を対象とした、模擬会社設立ワークショップなど、各年代に応じた起業家育成プログラムの実施。



### 先進技術を活用した市町村のまちづくりの取組を促進

県内市町村を対象に、ICT等の先進技術を活用したスマートシティのモデルとなる取組を公募・支援し、その成果について他の市町村へ横展開を図る。3市町村を選定。【分野の例】モビリティ、エネルギー、通信・データ、医療・福祉・健康づくりなど。市町村を対象とした成果報告会を開催。



### デジタル人材の育成を推進

デジタル技術を活用できる人材の育成支援・中小企業が抱える様々な問題を解決するためアドバイザーの派遣・中小企業のニーズに応じた社内研修のカリキュラムの作成から、研修の実施、終了後のフォローアップまでの支援を行うモデル事業の実施・在職者にIoT等のデジタル活用分野の短期間の職業訓練を実施等。



### 「矢作川カーボンニュートラルプロジェクト」の研究会設立・運営

有識者、国、県などから構成する「研究会」を設立。矢作川流域をモデルケースとし、「水循環」をキーワードに、再生可能エネルギー等の導入による国土強靱化をはじめ、森林保全・治水・水道からエネルギーまでを含め、官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指す。



### 次世代自動車の普及促進

EV、PHV及びFCVを始めとする次世代自動車の普及を促進。また、次世代自動車を対象とした本県独自の自動車税の課税免除を引き続き実施。旅客・貨物運送事業者や中小企業等の事業者に対し、EV、PHV、FCV、HVのユニバーサルデザインタクシー等の次世代自動車を導入する経費の一部を補助。



### 交通安全対策の推進

横断歩道における「歩行者保護の意識」を醸成。死者数の約7割を占める「高齢者」及び死亡事故の原因の約8割を占める「ドライバー」の事故防止のための啓発活動を実施。信号機の新設・改良、信号灯のLED化、道路標識・標線の整備等を推進。歩車分離式信号の整備や「ゾーン 30プラス」等を推進。



### 「ジブリパーク」の整備を推進

「青春の丘」、「ジブリの大倉庫」、「どんどこ森」の3エリアについては、本年11月1日の開園に向けて、展示・演示工事を行う。あわせて、その概ね1年後の開園を目指す「もののけの里」、「魔女の谷」の2エリアについて、引き続き整備工事を行うとともに、展示・演示工事に着手。  
※施設の整備・改修や周辺道路対策推進。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①青春の丘エリア ②ジブリの大倉庫エリア ③どんどこ森エリア	基本構想	基本設計	実施設計	工事	開業	概ね1年後
					開業	
					開業	
④もののけの里エリア ⑤魔女の谷エリア			実施設計	工事	開業	

# 一般質問 自動車整備士の育成について



事業所の約50%で自動車整備士が不足。その要因は、人口減少かつ高齢化に加え、志願する若者が減ってきているなど、人手不足は年々深刻化。自動車整備の仕事は、私たちの安全安心を保障するための点検・整備を行う極めて重要な仕事。



教育長

## 1 工科高校自動車科の取組 …技術革新に伴う学びをすべき!

- 自動車科では三級資格の取得を目指し、自動車整備を重点的に学んでいる。
- 「特定整備」「OBD車検」等、自動運転や電動化などへの対応で日々進化している。

**Q** 授業内容、課題、就職状況、整備士を希望しない理由

**A** 3年間の授業のうち、自動車整備に関する学習は全体の約3割。最新技術に対応するため、外部人材の更なる活用や教員の指導力向上が課題。自動車整備士になる生徒は約1割。生徒がそれぞれの希望に応じて選択した結果。

## 2 自動車関係団体との連携 …体験的な実習で自動車整備士の魅力を伝えるべき!

- 国交省では、自動車関係団体とともに都道府県ごとに『自動車整備人材確保・育成地方連絡会』を立上げ、基本的な取組を実施。
- 自動車関係団体との連携が希薄。
- やりがい、魅力の伝え方工夫。

**Q** 自動車関係団体との連携、取組、今後の取組

**A** 現役の整備士を講師として派遣、出前授業や実車を教材として活用。今後は、最新の知見や整備技術を有する方から直接指導を受ける機会を増やすなど、新しい時代における自動車整備の魅力が生徒に伝わるよう努める。

### 要望



約200名の生徒が整備士3級の資格を取るために多くの時間を費やす一方、整備士の道を志す生徒が1割では残念。知恵を絞って一人でも多くの生徒が整備士を志すような教育をお願いします。

### 国会では、参議院議員 はまぐち誠 さんが質問・要請!

**活動紹介** 自動車整備士不足対策  
総理と自動車整備士との車座対話の実施を要請し、総理の了承を得る。

後日、岸田総理と現役自動車整備士との車座対話が実現!! (1/13)



2021/12/7参議院予算委員会

岸田総理

はまぐち誠

# 一般質問 大河ドラマを活用した観光振興について



家康公騎馬像

岡崎市では、キャッチコピーとロゴマークを制作。キャッチコピーは「もっと岡崎、きっと家康」に決まり、また、ロゴマークは、岡崎で過ごした若き日の凛々しい家康公をイメージできる素晴らしいもの。今後は、「どうする家康」大河ドラマ館の設置など、多くの取組が行われる予定。



武将のふるさと愛知



観光コンベンション局長

## 1 大河ドラマを活用した取組 …広域観光の旗振り役を果たすべき!

- 様々なアイデアと地元の熱意により実施されていくものと期待している。
- 全国放送される大河ドラマを活用した広域からの誘客や県内周遊を図ることが重要。

**Q** 市町村等との連携、周遊観光にどのように導くか

**A** 県内49の市町、47の観光関係団体からなる「観光推進協議会」を設立(交通事業者やNHKもオブザーバー)。武将ゆかりの史跡等を巡るスタンプラリーと企画乗車券の販売をセットで行うなど、周遊観光の仕掛けを検討。

## 2 放送終了後の取組 …地域の提案・取組を効果的に発信すべき!

- まだまだ眠っているお宝があり、新たな視点で地域のお宝を掘り起こし、磨きをかける市町村や観光協会等、支援が必要。
- リピーターの定着、新規誘客が重要。

**Q** 放送終了後も継続・拡大させるための取組

**A** 大きく2つの方向で取組を実施。一つは、観光コンテンツの充実。地域資源を磨き上げ、ストーリー性を持った奥深い魅力ある旅行商品を造成。もう一つはブランド力強化。この観光コンテンツの充実とブランド力強化で継続・拡大を図る。

▶ ホームページを是非、一度ご覧ください。 <http://www.giin.biz/nishikubo/> 西久保ながし



住所変更・ご意見等ございましたら、下記までご連絡下さい。また、お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄り下さい。

発行：西久保ながし事務所

〒444-2134 岡崎市大樹寺3-1-18  
TEL 0564-25-0248 FAX 0564-25-4635